

テーマ	鳥取砂丘の動物のインベントリー作成と生活史・群集の調査
発表者	鶴崎展巨 鳥取大学地域学部 教授
概要	インベントリー（動植物の種目録や分布図）作成は地域の生物多様性の研究・保全・利用の基礎としてきわめて重要である。鳥取砂丘には海岸砂丘特有の興味深い動物（レッドデータブック掲載種を多数含む）がみられるが、そのインベントリーははなはだ不十分で、希少種の保全はもとより、鳥取砂丘の自然観察や観光にもほとんど活かされていない。この問題の解消をめざし、数年前から鳥取砂丘および山陰海岸の昆虫相・クモ相の解明を進め多数の新記録種を確認した。現在、砂丘で確認されている昆虫の種数は679種となった。周辺の林内に生息する種をのぞく砂丘地に生息する種は約150種である。
『目的』	鳥取砂丘と山陰海岸の昆虫などの動物の正確な同定にもとづく種リストの作成、分布図作成、生活史情報の蓄積と、鳥取砂丘の動物の同定の手引きや観察のためのテキスト作成。
『方法・手法』	文献記録から生息種の予備的リストを作成した（佐藤隆士・鶴崎展巨, 2010. 鳥取砂丘の昆虫相（予報）. 鳥取県立博物館研究報告, 47: 45-81）。また、現地で採集をおこない、分類学的検討を加えて最終リスト作成をおこなった（鶴崎ら 2012）、生息確認地点は携帯用GPSで緯度経度を記録し、精度の高い分布図を作成した。

砂丘オアシスのプール内で採集した水生甲虫

アオモンイトトンボ (Aomontonbonbo)
Ichinura senegalensis (Rambur, 1842)
オアシス 2011.10.11
鳥取県NDSで絶滅危惧種 (NT)

アジアイトトンボ (Asiaitonbonbo)
Ichinura asiatica Brauer, 1865
オアシス 2011.7.5

2011年7月にはオアシスのプールからイトトンボの幼虫も確認され、両種ともおそらく産卵から成虫の孵化にまでいたっている。
アジアイトトンボは2012年5月14日に確認・産卵行動確認

アマガエル

2011年: 成体2個体+幼生多数確認
6月25日 成体・幼生
7月12日 産卵・後脚がそろそろ

プールが干上がった7月下旬以降は確認できず、これらの個体はすべて死滅
2012年 現在のところ未確認

2011.7.12

2011.12.4 産卵はした模様

トノサマガエル

2011年: 成体2個体を確認 (7月下旬以降未確認) 幼生未確認
2012年5月 3卵、1卵 卵塊の確認

2011.7.14

2011.7.14

2011.7.14

図1. 2011年に砂丘オアシスで確認されたイトトンボ2種。ヤゴも見つかっており、両種とも1世代をオアシスで経過したと思われる。

図2. 2011年に砂丘オアシスで確認された水生甲虫。種数は少ないが、魚類などの捕食者がいないため個体数は非常に多い。

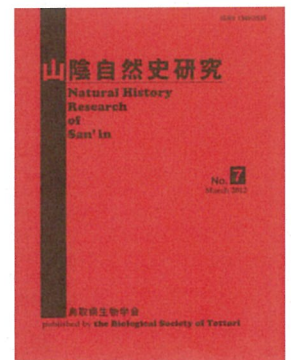
図3. 2011年に砂丘オアシスで確認されたアマガエル。オタマジャクシは四肢が生えるステージまで成長したが、直後にプールが干上がったため、カエルに変態するまでにはいたらなかったと思われる。なお、アマガエルは2012年にも確認済み。

図4. 2011年に砂丘オアシスで確認されたトノサマガエル。2011年は産卵しなかったが、2012年には産卵が確認された。ただし2012年はプールの干上がりが早く（5月下旬）、幼生は死滅した。

『結果』

2011年は、これまで調査不足であったオアシスとその周辺を中心として調査した。オアシスのプールでは多くの水生昆虫や2種のカエルの生息を確認した（図1-4）。これらにより、鳥取砂丘（狭義）から記録された昆虫（狭義）は13目14科679種となった（周辺地域を含めると14目153科750種：鶴崎ら2012）。52種は今回、鳥取砂丘から新たに確認されたもので、これ以外にも長らく記録がなく今回再確認された種は多数にのぼる。このリストは環境省版レッドリスト（2007）掲載種を8種、鳥取県版レッドデータブック改訂版（2012）の掲載種を17種含んでおり、鳥取砂丘が絶滅危惧昆虫のホットスポットとして非常に重要であることを示した。

2011年度が最終年度であったので、山陰自然史研究（鳥取県生物学会発行）の特集号（No. 7. 82 pp. 写真はすべてカラー：右図）として、鳥取砂丘と浦富海岸の鴨ヶ磯・城原海岸の動物の種目録（各種の生態・標本写真つき）の報告書を作成した。この冊子は希望者には無料で配布している。



【ライセンス情報】 発明の名称: 発明者:

【来場者へのメッセージ】
希少野生動物の保全管理、鳥取砂丘での環境学習に活かされるとともに、砂丘や山陰海岸の文化財・観光資源としての価値の付加・増大にも役立つものと考えています。学習用の手引きは山陰海岸ジオパーク野外学習ハンドブックのHP (<http://www.rs.tottori-u.ac.jp/geopark-handbook/index.html>) からPDFファイルとしてダウンロードいただけますので、ご利用ください。

連絡先: 鳥取大学地域学部地域環境学科 教授 鶴崎展巨
鳥取市湖山町南4-101 TEL. 0857-31-5110 E-mail: ntsuru@rstu.jp

分野	生物多様性, 動物分類学, 群集生態学	プレゼンタイム	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
----	---------------------	---------	---